

○総合計画－達成指標分析シート

基本目標	支えあいと笑顔あふれる思いやりのまち（福祉・社会保障）
施策の柱	地域福祉

●目指す姿

- 誰もが住み慣れた地域で安心して快適に暮らすため、お互いを地域の一員として認めあい、ふれあいを深めることで、支援を必要としている人を地域で見守り、支えあう仕組みができています。
- 地域の中で、誰もが自分のできる役割を果たしながら、地域の課題解決を図るように努めています。
- 様々な要因で生活困窮に陥り、日常生活が困難となった人が、地域の支援と公的サービスの両輪により、自立に向かうことができる仕組みが整っています。
- 地域における福祉活動、ボランティア活動などの拠点となる福祉センター等の利便性の向上が図られています。

●事業の達成指標

項目名	現状値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	担当課
（主）困った時に、隣近所で助けてもらえる人がいると 思っている市民の割合	71.5%	-	72.1%				UP	福祉 総務課
（主）高齢者や障がい者 に対して手助けを心がけて いる市民の割合	77.0%	-	76.8%				UP	福祉 総務課
（客）地域における福祉活動 拠点（ボランティアハウス等） の数	88拠点	107拠点	110拠点				100拠点	福祉 総務課

●施策の方向性①地域福祉の担い手育成

事業番号	51101	事業名	福祉ボランティア育成事業	担当課	福祉総務課
事業概要	今後の地域福祉推進のために、現在活躍されている福祉団体等だけでなく、子供から大人まで自分の暮らす地域の福祉について関心を持ってもらい、ボランティアなど地域福祉の担い手の育成をはかる。			担当課 評価	事業の達成指標に対して順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	<p>【現状】 小学4～6年生を対象に、福祉への関心を高め、ボランティア意識の醸成を図るため福祉体験学習を実施した。参加者からの時間が足りなかったとの感想から、2コースに分けて開催。参加者も増加した。</p> <p>【課題】 コースを増設し、福祉の職業観をはぐくむ内容を追加したが、内容が難しかったのか参加者の表情が興味のないように見受けられた。</p> <p>【対策】 小学生コースにおいては、福祉への関心を高めてもらえるような内容に変更する。また、中学生コースを新設し、職業観を育めるような内容を入れていく。</p>				

●施策の方向性③福祉の拠点づくりの推進

事業番号	51301	事業名	地域支え合い活動支援事業	担当課	福祉総務課
事業概要	地域での支え合いを目的とした団体、活動拠点の整備を進める。緑苑の「ふらっと」、八木山の「ささえあいの家」のような、地域が主体となって設置、運営する拠点作りについては運営主体を地区社協等地域団体に限定するのではなく、NPO法人なども対象として活動支援を行っていく。			担当課 評価	事業の達成指標に対して概ね順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	<p>【現状】 地域における日常的な支え合いの体制づくりを推進するため、1件の補助金を交付し、地域における福祉活動拠点を110件まで拡大した。</p> <p>【課題】 常設型の拠点を維持していくための後継者の育成や資金不足が課題である。</p> <p>【対策】 ボランティアや支援サポーターの発掘、育成を行う必要があるため、社協が実施しているボランティア育成講座や、夢プロジェクト等の補助金を活用してもらい運営を支援する。</p>				

事業番号	51302	事業名	福祉センター等施設改修等整備事業	担当課	福祉総務課
事業概要	地域福祉の活動拠点である福祉施設を適正に維持管理し、安全・安心で快適な利用環境を提供するため、長寿命化及び年次計画に基づき、老朽化した施設を整備する。			担当課 評価	事業の達成指標に対して概ね順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	<p>【現状】 長寿命化計画及び年次計画に基づいて改修工事を実施し、安心して快適に利用できる地域福祉の拠点整備に努めた。</p> <p>【課題】 施設改修に伴う、安定的な財源(補助金)の確保が課題となっている。 また今後、施設の老朽化の進行や利用者数の大幅な減少がある場合には、他施設との複合化、統廃合などについて検討していく。</p> <p>【対策】 引き続き防衛省の補助金を活用し、長寿命化計画に基づき計画的に施設整備を実施していく。</p>				

○総合計画－達成指標分析シート

基本目標	支えあいと笑顔あふれる思いやりのまち（福祉・社会保障）
施策の柱	社会保障

●目指す姿

- 必要な時に適切な医療、介護サービスを受けることができます。
- 「最後のセーフティネット」である生活保護制度が適正に運用されています。
- 生活保護に至る前の生活困窮者に対して、適切に支援する機能が充実・強化されています。
- 国民年金受給に関する手続き及び年金受給権獲得の支援が適切に行われています。

●事業の達成指標

項目名	現状値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	担当課
(客) 国民健康保険料の収納率(年間)	92.6%	92.9%	93.5%				93.0%	医療保険課
(客) 就労支援事業に参加した生活保護受給者の就職率(年間)	50.0%	56.5%	57.1%				60.0%	社会福祉課

●施策の方向性①国民健康保険制度、後期高齢者医療保険制度の適正な運用

事業番号	52101	事業名	国保健康増進事業	担当課	医療保険課
事業概要	多方面から健康増進への啓発活動や、健診事業の推進を行うことにより、国保加入者の健康に対する意識の向上を図り、医療費の抑制に繋げていく。			担当課評価	事業の達成指標に対して順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	<p>【現状】 健診の受診環境を整備するとともに、未受診者への受診勧奨をきめ細かく行ったことにより健診を受診するリピーターも増加し、健診の受診率向上に繋がっている。また、健診を受診することにより健康に対する意識の向上に繋がっていると思われる。</p> <p>【課題】 健診受診者と未受診者では医療費が約3倍となっている。また、生活習慣病患者が60代から急激に増加しており、一人当たり医療費の増額に繋がっている。</p> <p>【対策】 「国保の健診」受診対象者には継続受診の勧奨強化、未受診者に対しても同様に継続して受診勧奨を行い、若い世代から健診を受診していただくことで、病気の早期発見、早期治療を行い重症化を防ぎ、医療費の抑制に繋げていく。</p>				

●施策の方向性②介護保険制度の適正な運用

事業番号	52201	事業名	介護予防事業	担当課	高齢福祉課
事業概要	<p>高齢者の心身の状況に応じた介護予防を推進し、健康の維持や改善に取り組み、要介護状態になることを可能な限り予防する。住民主体となって開催される体操の集いなどの活動を地域に展開し、人と人とのつながりを通じて、活動の継続的な広がりがみられるよう、介護予防、地域づくりを推進する。</p>			担当課評価	<p>事業の達成指標に対して概ね順調に進んでいる</p>
現状分析・課題・対策	<p>【現状】 健康な高齢者から虚弱な高齢者まで、多くの高齢者に介護予防講座を受けていただき、健康の維持や改善に取り組んでいる。</p> <p>【課題】 高齢者人口が増加していくなか、より多くの高齢者の参加を促し、介護予防に繋げていく必要がある。</p> <p>【対策】 高齢者のニーズを把握し、健康な方も参加できる教室を展開していく。 平成29年度は、新たな介護予防教室を実施するとともに地域住民などが主体となって行う訪問型の「生活支援サービス」や通所型の「ミニデイサービス」の実施により、生活支援サービスの充実、介護予防の推進を図っていく。</p>				

事業番号	52202	事業名	介護認定調査事業	担当課	介護保険課
事業概要	<p>介護認定審査において公正かつ適正な認定結果がでるよう、一次判定結果に重要な指標となる介護認定調査業務を適正かつ公正に行えるよう、介護認定調査員への支援及び研修を行う。</p>			担当課評価	<p>事業の達成指標に対して順調に進んでいる</p>
現状分析・課題・対策	<p>【現状】 H28は計画した研修をすべて行い、調査業務が適正に行えるよう努めた。 H29の研修についても、年間計画を立てており、すでに県新規研修を8名が受講した。引き続き研修計画に沿って行う。</p> <p>【課題】 調査業務は市または介護支援専門員が行うもので、一定の研修が必要であり業務の専門性が非常に高い。よって、指導する職員の育成にも力点を置く必要がある。</p> <p>【対策】 保健師、看護師、社会福祉士、一般行政が密に連携し、対応していく。具体的には、研修計画を考える際には、国から提供される介護認定調査の分析データを用いて、重点的に研修すべき項目を洗い出していく。</p>				

●施策の方向性③生活困窮者自立支援施策の充実

事業番号	52301	事業名	生活困窮者自立支援事業	担当課	社会福祉課
事業概要	生活保護に至る前の生活困窮者に対して自立した生活を維持できるように、総合支援窓口を設け、関係機関と連携し、適切な相談・支援が受けられる体制を整備し、生活困窮者の自立を支援する。			担当課 評価	目標値に対し、 順調に進んでいる
現状分析・ 課題・対策	<p>【現状】 相談件数が増加傾向にあり、また、相談内容は経済的支援に留まらず、病気や家庭問題など多岐にわたる中、成果を上げている。</p> <p>【課題】 相談件数の増加や、相談内容の複雑化から、行政、福祉事務所や社会福祉協議会の連携のみでは対応が難しい場面が見受けられるようになってきている。</p> <p>【対策】 平成29年度より人員を増やし、増加する相談件数や複雑化するケース事案に対応するよう体制を整備した。</p>				

事業番号	52302	事業名	準保護世帯福祉医療費助成事業	担当課	医療保険課
事業概要	心身障害者や病弱者がいる家庭などの生活困窮世帯に対し、保険診療自己負担分の一部を助成することにより、出来る限り自立した生活ができるよう経済的支援を行う。			担当課 評価	事業の達成指標に対して順調に進んでいる
現状分析・ 課題・対策	<p>【現状】 医療費の給付業務を適切に実施している。</p> <p>【課題】 特になし。</p> <p>【対策】 未支給が発生しないよう、引き続き対象者に対するの周知を徹底して行う。</p>				

●施策の方向性④国民年金制度に関する啓発

事業番号	52401	事業名	年金相談事業	担当課	市民課
事業概要	厚生年金等相談コーナーを設置し、知識豊富な年金相談員を配置して、年金受給のための適切な相談を実施する。			担当課 評価	事業の達成指標に対して概ね順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	<p>【現状】 相談内容に対して丁寧かつ適切な回答ができています。 年金制度について相談者が十分に理解できるよう、より分かりやすい説明を心がけている。</p> <p>【課題】 年金に関しては、その制度変更がしばしば行われることから、十分注意しながら事業を進めていく必要がある。 また、プライバシーに配慮した環境で実施できるよう配慮する必要がある。</p> <p>【対策】 年金制度の変更に対しては、年金事務所と連携を取りながらその情報をいち早く入手し、国民年金受給者のためのきめ細やかな相談事業を継続して実施する。</p>				

○総合計画－達成指標分析シート

基本目標	支えあいと笑顔あふれる思いやりのまち（福祉・社会保障）
施策の柱	高齢者福祉

●目指す姿

- 高齢者が住み慣れた地域で安全・安心に自立した生活を継続するため、住まい・医療・介護・予防・生活支援を一体的に提供していく地域包括ケアシステムが整備されています。
- 老人福祉センターなど高齢者福祉施設が適正に維持管理されているとともに、介護保険施設の充実が図られています。
- 高齢者が自らの知識や経験を活かし、様々な場で活躍しています。

●事業の達成指標

項目名	現状値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	担当課
(主) 老後も安心して暮らせると思う市民の割合	27.6%	-	25.6%				UP	高齢福祉課
(主) 高齢者にとって、知識や経験を活かせる場があると思う市民の割合	25.4%	-	25.3%				UP	高齢福祉課
(客) かかみがはら安心ねっとわーくの加盟事業者数	63	304	318				300	高齢福祉課
(客) 高齢者人口に占める要支援・要介護認定者の割合	14.3%	14.5%	14.6%				14.0%	介護保険課

●施策の方向性①地域包括ケア体制の構築

事業番号	53101	事業名	地域包括支援センター運営事業	担当課	高齢福祉課
事業概要	社会福祉士・保健師または看護師・主任ケアマネージャーの資格を持つ職員を配置した地域包括支援センターを市内7箇所に設置し、本人や家族の生活相談、保健福祉サービスの紹介、関係機関との調整などを行う。			担当課評価	事業の達成指標に対して概ね順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	<p>【現状】 家族介護者等の負担軽減を目的に、家族介護者教室の開催や、認知症の方を介護する家族等(認知症本人も含む)を対象に、各包括支援センターで認知症カフェを開催し、家族介護者等の負担軽減を行った。</p> <p>【課題】 今後、ひとり暮らしや認知症の高齢者の増加が予想され、多様なニーズに対応するため、更なる強化が必要となる。</p> <p>【対策】 健康な方も含め、多くの方に介護予防・日常生活総合事業(運動器の機能・口腔機能の向上・認知症予防)を実施し、介護状態にならないように予防に努める。</p>				

事業番号	53102	事業名	地域包括ケアシステム構築事業	担当課	高齢福祉課
事業概要	地域社会全体で見守りのネットワークを構築することにより、市民の孤独死防止、安否確認及び行方不明者の早期発見を行うほか、市民が住み慣れた地域で安心して生活することができる環境整備を図る。			担当課 評価	事業の達成指標に対して概ね順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	<p>【現状】 新たに15の民間事業者等と事業に関する協定を締結し、連携拡大を図った。</p> <p>【課題】 市民が住み慣れた地域で安心して生活することができるよう、更なるネットワークの構築が必要。</p> <p>【対策】 パンフレットやステッカーを配布するなど「かかみがはら安心ねっとわーく事業」の一層の周知に努め、新たな民間事業者等との協定を目指す。</p>				

●施策の方向性②高齢者の自立支援・生活支援

事業番号	53201	事業名	介護保険施設等建設補助事業	担当課	介護保険課
事業概要	第6期かかみがはら高齢者総合プラン(H27年度～H29年度)の整備計画に基づき、介護保険施設を整備			担当課 評価	事業の達成指標に対して順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	<p>【現状】 第6期かかみがはら高齢者総合プランに記載された計画通りに施設整備を進めている。</p> <p>【課題】 介護保険施設を過不足なく提供していくため、引き続き第6期かかみがはら高齢者総合プランに記載した計画通りに整備を進める。また、第7期かかみがはら高齢者総合プラン(H30年度～32年度)に将来需要を考慮した整備計画を盛り込む。</p> <p>【対策】 平成29年度についても引き続き支援を実施していく。 ※平成29年度整備予定 ・介護老人福祉施設(広域型特別養護老人ホーム):定員60人 ・看護小規模多機能型居宅介護:定員29人</p>				

事業番号	53202	事業名	高齢者日常生活支援事業	担当課	高齢福祉課
事業概要	健康に不安のある高齢者やひとり暮らし高齢者など、日常生活を営むうえで何らかの支援が必要とされる高齢者に対して、地域での自立した生活を送るためのサービスを提供する。			担当課 評価	事業の達成指標に対して概ね順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	<p>【現状】 高齢者の在宅支援事業を実施することにより、本人やその家族が安心して生活を維持し、その質的向上を図ることができた。 高齢者総合プランの策定にあたりアンケート調査の実施により、高齢者サービスのニーズに関する実態等を把握した。</p> <p>【課題】 支援が必要な高齢者や、高齢者サービスのニーズに基づいた支援が必要である。</p> <p>【対策】 パンフレットの配布、ホームページや広報紙への掲載により、支援が必要な高齢者とその家族や民生委員等に対して、引き続きサービスの周知を図る。また、ニーズに基づく支援について検討していく。</p>				

●施策の方向性③認知症対策の推進

事業番号	53301	事業名	認知症支援対策推進事業	担当課	高齢福祉課
事業概要	認知症になっても、本人の意思が尊重され、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、本人の状態に応じたサービスの提供を行う。認知症高齢者やその家族を支援するために、早期に適切な対応ができる体制の確立とともに、地域における見守りなどの支援を構築する。			担当課 評価	事業の達成指標に対して概ね順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	<p>【現状】 各包括支援センターへの認知症地域支援推進員の配置や、キッズサポーターの養成(小5・中2)、認知症カフェの開催など、「認知症の気付き」に関する事業に注力した。</p> <p>【課題】 受講修了者がボランティアに繋げ、参加しやすい環境づくりが求められている。また、認知症の早期診断、早期対応のための体制を整えていく必要がある。</p> <p>【対策】 認知症サポーター養成講座を受講した方々などにボランティアに参加していただくために「ボランティアバンク」を創設し、登録制度を設けて活動の場を提供していく。 また、認知症の早期から家庭訪問を行い、本人や家族に対する初期の支援を包括的・集中的に行う「認知症初期集中支援チーム」を設置する。</p>				

●施策の方向性④高齢者の生きがいづくりの推進

事業番号	53401	事業名	高齢者生きがい対策支援事業	担当課	高齢福祉課
事業概要	高齢者の主たる活動団体であるシニアクラブの活動支援、参加促進を図る。			担当課 評価	事業の達成指標に対して概ね順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	<p>【現状】 シニアクラブの活動支援、参加促進を図りながら、高齢者の健康増進、地域社会との交流に繋げている。</p> <p>【課題】 定年延長や生活様式の多様化に加え、住民の交流が少ない地域もあり、会員数は全国的にも減少傾向にある。</p> <p>【対策】 全国老人クラブ連合会が、平成26年～30年までの5年間に、100万人の会員増加運動を行うにあたり、市シニアクラブ連合会についても同様の会員増加運動を支援する。また、介護予防を目的とした高齢者向け口腔機能向上等の予防事業を啓発し、会員数の増加に繋げる。 さらに、平成29年度は会員増強プロジェクトチームを発足させ、企業からの協賛を得ながら幅広い年齢層の会員獲得を目指す。</p>				

事業番号	53402	事業名	高齢者福祉施設改修等整備事業	担当課	高齢福祉課
事業概要	「公共施設長寿命化計画維持補修計画書」に基づき、課が所管する次の施設に関し計画的に改修・整備を行う。 慈光園(平成18年設置)・高齢者生きがいセンター稲田園(昭和54年設置)・川島会館(昭和58年設置)			担当課 評価	事業の達成指標に対して概ね順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	<p>【現状】 「公共施設長寿命化計画維持補修計画書」に基づき、課が所管する施設(慈光園、稲田園、川島会館)に対し、計画的に改修・整備を行っている。</p> <p>【課題】 公共施設等を通じたより良い市民サービスを提供していくため、引き続き公共施設等の老朽化対策や安全対策等を進める。また、市民の声を反映しながら計画的に公共施設を整備する。</p> <p>【対策】 施設機能を良好に保つため、公共施設等に対する日常的な点検活動を推進し、施設情報を十分に把握するなど、効果的な維持管理を行う。また、日常的な点検活動や定期的な診断により、安全面での支障が確認された場合には、安全確保のための措置を速やかに講じるなど、市民が常に安全・安心に利用できる環境を維持する。 ※平成29年度実施予定:稲田園外壁改修、川島会館電機設備改修工事</p>				

●施策の方向性⑤高齢者の社会参加促進

事業番号	53501	事業名	高齢者社会参画支援事業	担当課	高齢福祉課
事業概要	働くことを通じて健康を維持・増進し、生きがいを得ることができ る機会を提供するため、シルバー人材センターの機能充実に 向けた支援を行う。			担当課 評価	事業の達成指 標に対してあま り順調に進んで いない
現状分析・ 課題・対策	<p>【現状】 シルバー人材センターの会員数は微増しているものの、就業率は減少している。</p> <p>【課題】 会員数の増加と就業率の向上に向けて、更に必要な支援を行う必要がある。</p> <p>【対策】 広報紙における会員募集やイベント等における普及啓発活動に対し支援する。</p>				

○総合計画－達成指標分析シート

基本目標	支えあいと笑顔あふれる思いやりのまち（福祉・社会保障）
施策の柱	障がい児者福祉

●目指す姿

- 障がいのある人が地域で安心して暮らすためのサービス、相談・支援体制が充実しています。
- 障がいのある人が自立して自分らしく生活するための就労環境が充実し、社会全体で支える仕組みができています。
- 障がいの有無にかかわらず社会参加が可能となるよう、公共的な施設が整備されるとともに、外出に対する支援やコミュニケーションに対する支援が充実しています。

●事業の達成指標

項目名	現状値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	担当課
（主）公共的な施設が障がい者でも使いやすい施設となっていると思う市民の割合	28.6%	-	29.9%				UP	社会福祉課
（主）障がい児者相談窓口の満足度	80.4%	-	89.0%				UP	社会福祉課
（客）就労継続支援A型事業の利用者数（年間）	105人	151人	170人				120人	社会福祉課
（客）市内障がい児者短期入所受入れ施設数	2施設	4施設	5施設				6施設	社会総務課

●施策の方向性①相談体制、サービス情報提供の充実

事業番号	54101	事業名	障がい者相談支援事業	担当課	社会福祉課
事業概要	障がいのある方が、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、障がいのある方本人及びその家族からの相談に応じ、必要な情報の提供、助言、障害福祉サービスの利用支援等、必要な支援を行うとともに、権利擁護のために必要な援助を行う。			担当課評価	事業の達成指標に対して順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	<p>【現状】 平成27年度より、すべての障害福祉サービス利用者にサービス等利用計画の作成が義務付けられたことに伴い、計画の作成・モニタリングを実施する相談支援専門員が定期的に訪問や電話相談に応じており、サービス利用に関することのみならず、日常生活全般についての身近な相談窓口としての役割を果たしている。</p> <p>【課題】 障害福祉サービスの利用者の増加に伴い、相談支援専門員が不足してきている。</p> <p>【対策】 相談支援事業所に、相談支援専門員の増員を要請していく一方、市としても基幹相談支援センターを設置（H29.7～）し、総合的、専門的な相談的支援を実施する。</p>				

●施策の方向性②障がい児者の自立支援の促進

事業番号	54201	事業名	障がい者自立支援事業	担当課	社会福祉課
事業概要	障がいのある方が、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、障害福祉サービスに係る費用の支給や生活用具の給付及び医療費の助成を行う。			担当課 評価	事業の達成指標に対して順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	<p>【現状】 利用者人数の実績を見ると、28年度は27年度に比較してほぼ横ばい状態である。</p> <p>【課題】 就労支援コーディネーターの活動により、就労継続支援A型や一般就労につながったケースがあるが、短期間で離職することも多い。</p> <p>【対策】 就労支援により、就職した方が、短期間で離職しないよう、定着支援について関係機関と連携して実施する。</p>				

事業番号	54202	事業名	障がい者地域生活支援事業	担当課	社会福祉課
事業概要	障がいのある方が、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、また家族の介護負担を軽減するため、在宅生活支援サービスの拡充を図る。			担当課 評価	事業の達成指標に対して順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	<p>【現状】 移動支援事業、地域活動支援センター事業について前年に比べて、利用者が約1割程度増加している。他のサービスについては、おおむね横ばいである。</p> <p>【課題】 現在は、利用者の増加については変動は少ないが、今後、保護者、家族の高齢化が進む中、親なき後、サービス利用が増加する可能性がある。</p> <p>【対策】 引き続き、適切な支給決定・給付を行う。</p>				

事業番号	54203	事業名	障がい児自立支援事業	担当課	社会福祉課
事業概要	障がい児が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように、その能力及び適性に応じた適切な支給決定・給付、相談支援を実施する。			担当課 評価	事業の達成指標に対して順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	<p>【現状】 27年度と比較してどのサービスも利用人数についてはおおむね横ばいである。サービス内容の性格上、成人や老人と違って、児童の介助は保護者がする場合が多いため、急激に利用者数、利用時間が増える事業ではない。</p> <p>【課題】 保護者の介助負担の軽減、就労などを理由により、今後は利用者数、利用時間が増える可能性はある。</p> <p>【対策】 引き続き、適切な支給決定・給付を行う。</p>				

事業番号	54204	事業名	障がい児地域生活支援事業	担当課	社会福祉課
事業概要	障がい児が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように、また、家族の介護負担を軽減するため、その能力及び適性に応じ、適切な支給決定・給付、相談支援を実施する。			担当課 評価	事業の達成指標に対して順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	<p>【現状】 27年度と比較して日中一時支援事業、移動支援事業とも実利用人数、利用回数とも、ほぼ横ばい。27年度に利用がなかった訪問入浴事業の利用者があった。</p> <p>【課題】 現在は利用者数、利用回数は横ばいだが、介助者が共働き世帯、単身世帯の増加で今後、利用者の増加が見込まれる可能性はある。</p> <p>【対策】 引き続き、適切な支給決定・給付を行う。</p>				

事業番号	54205	事業名	障がい児通所支援事業	担当課	社会福祉課
事業概要	障がい児が集団・個別療育、理学療法等の機能訓練ができるように、その能力及び適性に応じ、適切な支給決定・給付、相談支援を実施する。			担当課 評価	事業の達成指標に対して順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	<p>【現状】 市内事業所の増加や、発達障害の知識が普及し、発達障害の存在が認知されつつあるなどの背景から、特に放課後等デイサービスの利用者数、利用回数が伸び、それに伴い扶助費が急激に伸びている。(前年比1.66倍)</p> <p>【課題】 放課後等デイサービスの利用者数、利用回数の急激な伸び。</p> <p>【対策】 支援の継続は必要だが、併せて放課後デイサービスの支給決定基準、支給量見直しを近隣市町の動向を見ながら検討していく。</p>				

事業番号	54206	事業名	重度障がい者(児)医療費助成事業	担当課	医療保険課
事業概要	重度障がい者(児)に、保険診療自己負担分を助成し、重度障がい者(児)の健康増進と福祉の充実を図る			担当課 評価	事業の達成指標に対して概ね順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	<p>【現状】 医療費の給付業務を、概ね順調に実施している。</p> <p>【課題】 1年ごとの更新手続き時に、受給者に対し申請手続きの案内を郵送しているが、被保険者側の更新忘れによる受給漏れが生じることがある。</p> <p>【対策】 未申請の対象者に対し、再度案内通知を発送し、受給漏れの減少に努める。</p>				

●施策の方向性③障がい児者の社会参加促進

事業番号	54301	事業名	障がい者社会参加促進事業	担当課	社会福祉課
事業概要	障がいのある方が住み慣れた地域社会の中で自立し、社会に参加できるようにするために必要な援助を行うことにより、障がいの有無にかかわらず誰もが明るく暮らせる社会づくりを促進する。			担当課 評価	事業の達成指標に対して概ね順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	<p>【現状】 聴覚障がい者や高齢者が参加しやすくなることを目的に、平成22年度より、聴覚障がい者個人からの依頼だけでなく、行事やイベント等の主催者からの依頼にも対応し、市が主催する講演会や会議等にできる限り手話通訳者等(手話通訳者、手話奉仕員、要約筆記者、要約筆記奉仕員)を派遣している。</p> <p>【課題】 講演会や会議等への手話通訳者等の派遣は、障害者差別解消法の施行されたことに伴い今後増加が見込まれるが、手話通訳者等の登録者が増えていかないのが課題である。</p> <p>【対策】 手話通訳者及び要約筆記者の養成講座は県が必須事業として開催しており、市はその手前の手話奉仕員養成講座及び要約筆記体験講座を開催している。県の講座に繋げるためにも、今後も各講座の毎年開催を継続していく。</p>				

●施策の方向性④障がい児者施設の充実

事業番号	54401	事業名	福祉の里改修等整備事業	担当課	福祉総務課
事業概要	障がい児者福祉推進の拠点である福祉の里を整備し、安全安心で快適な利用環境を維持するため実施。長寿命化及び年次計画に基づき、老朽化した施設及び備品を整備する。			担当課 評価	事業の達成指標に対して概ね順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	<p>【現状】 自動火災報知設備の更新、障がい者生活介護サービス拡充に伴う施設整備を実施した。</p> <p>【課題】 安全安心で快適な利用環境を維持するため、施設改修に伴う、安定的な財源(補助金)の確保が課題となっている。</p> <p>【対策】 平成29年度工事の中央監視装置等改修工事について、防衛省の調整交付金を申請して実施し、財源の確保に努める。また、施設の利用者、職員から現状の問題点等も聞き取りしながら、今後の改修について検討する。</p>				

○総合計画ー達成指標分析シート

基本目標	支えあいと笑顔あふれる思いやりのまち（福祉・社会保障）
施策の柱	子ども福祉

●目指す姿

- 家庭・地域・行政が一体となって、子ども及び子育て家庭を支える仕組みを構築し、安心して子どもを生み、育てる環境としての社会的支援や経済的支援が充実しています。
- 保護者の育児力が向上し、子育ての楽しさが高まっています。
- 子育てと仕事の両立支援のための環境が整備されています。

●事業の達成指標

項目名	現状値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	担当課
（主）子育てしやすい環境が整っていると感じている市民の割合	41.6%	-	45.0%				UP	子育て支援課
（主）子育てについて相談する人や場所があると思っている市民の割合	60.7%	-	58.4%				UP	子育て支援課
（客）子育てボランティア登録者数	269人	305人	363人				350人	子育て支援課
（客）育児に関する研修会参加者数（年間）	593人	765人	589人				650人	子育て支援課

●施策の方向性①地域ぐるみの子育て支援体制の強化

事業番号	55101	事業名	子ども館運営事業	担当課	子育て支援課
事業概要	親子の絆を深め、育児の孤立化を防ぐために、子育て親子が集い、遊べる場を提供し親同士の交流を図ったり、また育児不安などの相談や地域のボランティアとの交流事業等を実施する。			担当課評価	事業の達成指標に対して順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	<p>【現状】 子育て親子が集い、遊べる場を提供することで、親同士の交流や親子の絆を深めることができている。また、育児不安などへの相談も、育児の孤立化を防ぐことにつながっている。</p> <p>【課題】 核家族化・地域関係の希薄化により、育児に不安を感じている人が多くなっている。地域の子育て拠点としての機能を高め、育児の不安軽減や孤立化を防ぐため、相談業務を強化する必要がある。</p> <p>【対策】 現在の相談体制に加え、うぬま子ども館と東保健センターを併設することにより、より身近で専門的な相談体制を構築する。</p>				

事業番号	55102	事業名	子育て支援事業	担当課	子育て支援課
事業概要	子どもの健やかな成長と子育て家庭を地域全体で支える環境をつくるため、ボランティアとの協働による子育て支援施策を実施する。			担当課 評価	事業の達成指標に対して順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	<p>【現状】 こんにちは赤ちゃん訪問、ふれあい絵本デビュー、親子サロンなど、ボランティアと協働で子育て支援施策を実施し、子どもの健やかな成長と子育て家庭を地域全体で支える環境を整えることができた。</p> <p>【課題】 ボランティアの高年齢化が課題である。</p> <p>【対策】 ボランティアの増加に向けて、ヘルパー養成講座での呼びかけなど、一層の周知を図る。</p>				

●施策の方向性②子育てを学ぶ場の充実

事業番号	55201	事業名	子育てを学ぶ場充実事業	担当課	子育て支援課
事業概要	家庭での育児を支援するため、子育てを学ぶ講座や講演会等を実施する。			担当課 評価	事業の達成指標に対して概ね順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	<p>【現状】 育児講座や料理講座、食育講座など、子育てに役立つ講座を実施し、多くの参加者があった。講座の実施により、親や子育て支援に関わる人の子育てや発達に関する理解が深まった。</p> <p>【課題】 長年同様の講座を実施しているが、調査を行いニーズを把握する必要がある。また、講座の内容とともに、会場や託児受入可能人数によっても定員や参加者数が増減する。</p> <p>【対策】 アンケートを実施して講座ニーズを把握し、講座の内容や回数について再編成を検討する。また、会場選定や託児の手配などを早期に実施し、多くの方に参加していただけるよう努める。</p>				

●施策の方向性③ひとり親家庭への支援

事業番号	55301	事業名	ひとり親家庭自立支援事業	担当課	子育て支援課
事業概要	ひとり親家庭等の生活の安定と自立促進及び子どもの健全育成を図ることを目的に就労支援を実施する。			担当課 評価	事業の達成指標に対して概ね順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	<p>【現状】 給付金の受給により取得した資格を生かした就業につながっており、ひとり親家庭の自立支援に一定の成果を上げている。</p> <p>【課題】 平成28年度は、制度を分かりやすく紹介したチラシを作成し、窓口での周知を図ったが、資格の取得者が増加するよう更なる周知が必要である。</p> <p>【対策】 相談者のニーズに対応した制度を紹介していく。また、広報紙や市ウェブサイト等を通して一層の周知を図る。</p>				

事業番号	55302	事業名	母子家庭等医療費助成事業	担当課	医療保険課
事業概要	母子・父子家庭の18歳までの子どもや親にかかる保険診療自己負担分を助成し、母子・父子家庭の健康増進と福祉の充実を図っていく。			担当課 評価	事業の達成指標に対して概ね順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	<p>【現状】 医療費の給付業務を、概ね順調に実施している。</p> <p>【課題】 1年ごとの更新手続き時に、受給者に対し申請手続きの案内を郵送しているが、被保険者側の更新忘れにより、受給漏れが生じることがある。</p> <p>【対策】 未申請の対象者に対し、再度案内通知を発送し、受給漏れの減少に努める。</p>				

●施策の方向性④発達支援体制の充実

事業番号	55401	事業名	乳幼児発達支援事業	担当課	社会福祉課
事業概要	<p>ことばや社会性の発達の緩やかな乳幼児を早期に見出し、保育所、幼稚園、家庭等において適切な関わりが持てるように支援をするとともに、乳幼児の発達段階の情報を小学校へつなげ、切れ目の無い支援を目指す。</p> <p>また乳幼児発達支援推進協議会により、福祉・母子保健・小学校との連携を強化する。</p>			担当課評価	事業の達成指標に対して順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	<p>【現状】 ことばや社会性の発達がゆるやかな子への支援のため、すくすく応援隊事業で保育所、幼稚園を訪問したり、保育所や幼稚園の先生を対象にした指導者研修会や保育士、幼稚園教諭、保護者を対象とした講演会を開催している。</p> <p>【課題】 すくすく応援隊の訪問メンバーの継続的な人材確保。</p> <p>【対策】 すくすく応援隊に29年度から療育の専門家(福祉の里の職員)を加え、より適切な支援を図るとともに、継続的に人材を確保する。</p>				

●施策の方向性⑤乳幼児保育・教育の充実

事業番号	55501	事業名	保育所施設整備事業	担当課	子育て支援課
事業概要	<p>老朽化した施設をリニューアル整備(屋上防水工事、外壁改修、トイレ改修、プール改修等)するために、公共施設等長寿命化計画及び実施計画等に基づき、公立・私立保育所の整備を行い、快適な保育環境を整える。</p>			担当課評価	事業の達成指標に対して概ね順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	<p>【現状】 現場の要望を踏まえながら、公立・私立保育所の改修工事を計画通り実施し、児童に快適な保育環境を提供している。</p> <p>【課題】 快適な保育環境を維持する観点から、現場の要望を踏まえながら、できるだけ迅速に工事等を実施していくことが必要である。</p> <p>【対策】 スケジュール管理を適切に行い、早期に工事等が施工できる体制を整える。</p>				

事業番号	55502	事業名	保育所運営管理事業	担当課	子育て支援課
事業概要	子育て支援の役割を担う保育所において、保育を必要とする児童の健やかな成長と保護者の育児と就労の両立を支援するため、保育所運営費を支給する。			担当課 評価	事業の達成指標に対して順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	<p>【現状】 保育所の運営費(施設型給付費)を正しく遅滞なく支給し、法人の運営を支援するとともに、保育を必要とする児童の健やかな成長と保護者の育児と就労の両立を支援することができている。</p> <p>【課題】 3歳未満児の保育ニーズが年々増加しており、待機児童を発生させない対策が必要である。</p> <p>【対策】 過去の入所率や女性の就労率などから今後の保育の必要量を適切に見込み、私立保育所等へ定員増を働きかけるなど、必要量の確保に努めていく。</p>				

事業番号	55503	事業名	幼稚園就園奨励費補助事業	担当課	子育て支援課
事業概要	私立幼稚園に在園する満3歳から5歳児の保育料等について、保護者の経済的負担の軽減を図るため就園奨励費を支給する。			担当課 評価	事業の達成指標に対して順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	<p>【現状】 国の補助金要綱改正に伴い、本市も国の基準どおり改正を行い、母子家庭や多子世帯に対して更なる経済的負担の軽減を図った。</p> <p>【課題】 国は幼児教育の無償化を段階的に進めていくとしており、制度が毎年変更され複雑化する傾向にある。 そのことから、施設や保護者へのわかりやすい周知、正確な補助金の交付を徹底させる必要がある。</p> <p>【対策】 施設や保護者に対し、わかりやすい文書の配布やウェブサイトの掲示等に努めていく。 システム委託業者と連携し、確実なシステムの改修及び運用に努めていく。</p>				

事業番号	55504	事業名	認定こども園支援事業	担当課	子育て支援課
事業概要	<p>幼保一体化施設である認定こども園の制度を活用することで、幼児教育と保育並びに子育て支援の充実を図る。また、施設型給付費を支給し、運営を支援する。</p>			担当課 評価	事業の達成指標に対して順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	<p>【現状】 平成27年4月に子ども子育て支援新制度がスタートしてから、保育所や幼稚園から5園（内、昨年度は2園）が順調に認定こども園に移行し、幼児教育と保育並びに子育て支援の充実が図られている。</p> <p>【課題】 移行した場合、入園申込みや保育料の徴収などの仕組みが大きく変わるため、保護者や運営法人が混乱する可能性がある。</p> <p>【対策】 運営法人との調整や打ち合わせを繰り返し、混乱なく移行ができるようサポートしていく。 また、保護者に対して、わかりやすい文書の配布やウェブサイトの掲示等に努めていく。</p>				

事業番号	55505	事業名	特別保育事業	担当課	子育て支援課
事業概要	<p>核家族化の進行、就労形態の多様化等の社会的背景により、多様な保育ニーズに対応したサービスが求められることから、特別保育を実施する私立保育所（園）等に助成。</p>			担当課 評価	事業の達成指標に対して順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	<p>【現状】 特別保育を実施した保育所（園）に適切に補助金を交付し、児童の健やかな成長と保護者の育児と就労の両立を支援することができている。</p> <p>【課題】 国の補助要綱等の変更が毎年行われているため、運営法人への周知を遅滞なく行うことが必要である。</p> <p>【対策】 改正の内容を熟知し、メール配信する文章はポイントを的確に運営法人へ伝えるよう作成する。</p>				

●施策の方向性⑥児童健全育成の推進

事業番号	55601	事業名	放課後児童健全育成事業	担当課	子育て支援課
事業概要	就労等により保護者が昼間家庭にいない小学生に対し、放課後及び夏休み等長期学校休業日に、適切な遊びや生活の場を与え、その健全育成を図る。			担当課 評価	事業の達成指標に対して順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	<p>【現状】 適切な遊びや生活の場を与え、児童の安全な生活を支援するとともに、保護者が安心して働くことができる環境を整えている。</p> <p>【課題】 利用者増加に伴い、教室や支援員など、受入体制の確保が課題である。</p> <p>【対策】 学童保育室の運営を全面民間委託することにより、利用者増加に対応した体制を整えるとともに、新たに冬休みのみ、春休みのみの受け入れを実施するなど、新たなニーズに対応する。また、小学校と調整し実施場所の確保を図る。</p>				

事業番号	55602	事業名	こども医療費助成事業	担当課	医療保険課
事業概要	中学生までの子どもにかかる保険診療自己負担分を助成し、子どもたちの健康増進と福祉の充実を図る。			担当課 評価	事業の達成指標に対して概ね順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	<p>【現状】 医療費の給付業務を、概ね順調に実施している。</p> <p>【課題】 転入・出生などの新規の受給資格発生時の申請漏れがある。また、小学校就学時の県制度から市制度への切り替え時には対象者に申請の案内を発送しているが、申請忘れ等による受給漏れも発生している。</p> <p>【対策】 転入・出生時には市民課から対象者に周知してもらうよう連携していく。申請を行っていない対象者に対して再度案内を郵送し、受給漏れの減少に努める。</p>				